

チャプター  
6

## 6. 売買条件の設定

### 1. 全ペア共通売買条件詳細設定

全ペア共通の売買条件の設定について説明します。

1. メニューの「売買条件」の「全ペア共通売買条件詳細設定」をクリックしてください。

[A]単価	[A]株数	注文区分選択(C)	株数	B仕	仕掛
0	1.00	売買条件区分選択(K)	500	0	
0	1.00	全ペア共通売買条件詳細設定(S)	2,000	0	
0	10	ペア別売買条件詳細設定(D)	2,000	0	
0	2.00		6,000	0	
0	2.00		500	0	
0	100	東1 7762 シチズンHD	0	700	0
0	300	東1 5110 住友ゴム	0	600	0
0	5,000	東1 8562 福島銀	0	9,000	0

2. 売買シミュレーションは、サヤの短期移動平均やサヤの拡大、縮小等を監視して取引マークを表示します。下記は**取引マークを表示する条件**です。

※各項目の設定値は基準値が存在しますが設定範囲内で変更可能です。

説明  
売買シミュレーションはサヤの短期移動平均やサヤの拡大、縮小等を監視して売買シグナルを表示します。下記は売買シグナルを表示する条件です。各項目の設定値は基準値が存在しますが設定範囲内で変更可能です。

対象銘柄ペア  
全ペア共通

移動平均

No.	項目	設定範囲(基準値)	設定値
1.	短期移動平均日数	1~10日(1日)	1 サヤチェック用
2.	長期移動平均日数	20~490日(150日)	150 ポリンジャーバンド2用

しきい値係数(σ)

No.	項目	設定範囲(基準値)	設定値
3.	ポリンジャーバンド係数	0.2~5(1.5)	1.5

仕掛け条件

4. サヤの短期移動平均が

- ポリンジャーバンド2の外に出いたら仕掛ける。
- ポリンジャーバンド2の中から外に出た時に仕掛ける。
- ポリンジャーバンド2の外から中に入った時に仕掛ける。

手仕舞い条件

No.	項目	設定範囲(基準値)	設定値
5.	利食い	10~200%(80%)	80 仕掛け時からのサヤの縮小量(仕掛け時におけるサヤ長期移動平均からのサヤの乖離)に対する割合
6.	損切り	10~200%(80%)	80 仕掛け時からのサヤの拡大量(仕掛け時におけるサヤ長期移動平均からのサヤの乖離)に対する割合
7.	手仕舞い期限	2~N日(30日)	80 無条件に手仕舞いする期間(最大値Nは1988-長期移動平均日数)

#### ➤ 移動平均

- ① 短期移動平均日数(基準値1日)  
サヤの短期移動平均を計算するときの日数です。
- ② 長期移動平均日数(基準値150日)  
サヤの長期移動平均を計算するときの日数です。

➤ しきい値係数( $\sigma$ )

- ③ ボリンジャーバンド2係数(基準値 $1.5\sigma$ )  
サヤチャートのサヤボリンジャーバンド(ピンクのライン)です。  
仕掛けマークが発生する条件になります。

➤ 仕掛け条件

- ④ 仕掛け条件は下記の3種類から選択できます。
- ・サヤの短期移動平均が、ボリンジャーバンド2の外に出たら仕掛ける
  - ・サヤの短期移動平均が、ボリンジャーバンド2の中から外に出た時に仕掛ける
  - ・サヤの短期移動平均が、ボリンジャーバンド2の外から中に入った時に仕掛ける

※種類によって損益が変わりますが、ボリンジャーバンド2の外に出たら仕掛けるが最も利益が多くなるようです。

➤ 手仕舞い条件

- ⑤ 利食い(基準値80%)  
利食いラインを設定する値です。予定利益に対する割合で設定します。サヤが縮小して利食いラインに達すると手仕舞いマークが発生します。仕掛け時のサヤと手仕舞い時のサヤの差(サヤの縮小した量)が実際の利益になります。予定利益は仕掛け時の長期移動平均からのサヤの乖離値です。
- ⑥ 損切り(基準値80%)  
損切りラインを設定する値です。予定利益に対する割合で設定します。サヤが拡大して損切りラインに達すると手仕舞いのシグナルが発生します。仕掛け時のサヤと手仕舞い時のサヤの差(サヤの拡大した量)が実際の損になります。
- ⑦ 手仕舞い期限(基準値30日)  
仕掛け後に、この期間を経過したら無条件で手仕舞いします。仕掛けからの期間が、この条件を満たしたら手仕舞いマークが発生します。

3. 各項目を設定後、「全ペア共通用として保存」をクリックすると現在の設定値がファイルとして保存されます。

※各設定値を基準値に戻すには「基準値に戻す」「全ペア共通用として保存」をクリックしてください。

4. 「閉じる」をクリックしてください。  
ペアグラフ上部には、売買条件区分として「共通」が表示されます。



**[ポイント]**

売買条件詳細を変更後は「損益内訳」のスクリーン1を実行して、売買シミュレーションの結果を確認してください。売買条件詳細の変更とスクリーン1を繰り返し、シミュレーションの結果ができるだけ良くなる売買条件詳細を探ってください。

シミュレーションの結果が良いとは具体的には下記の状態です。

- ・損益値が大きい
- ・勝率が高い
- ・プロフィットファクターが大きい
- ・最大ドロウダウンが小さい

基準値は、最も合計損益が大きくなる傾向にあります。

損益平均は、取引(仕掛けと手仕舞いのセット)を複数回実施した場合の1取引当たりの損益の平均です。この値が大きい程資金効率が良いです。勝率は80%以上、プロフィットファクターは10.0以上でどちらもできるだけ大きいのが望ましいです。

**[ご注意]**

トータルの損益を最大に調整することは意味がありません。なぜなら仕掛け条件を緩くして取引回数を多くすれば損益も大きくできてしまうからです。これは投入資金を大きくして無理やり利益を大きくしているに過ぎません。目指すのは少ない資金でできるだけ利益を多くすることです。

**2. ペア別売買条件詳細設定**

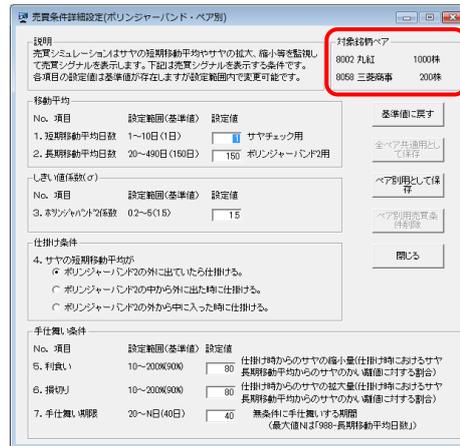
ペア別に売買条件を設定する場合に使用します。

1. ペア別に設定しようとするペアを、銘柄ペアリスト上でクリックしてください。
2. メニューの「売買条件」の「ペア別売買条件詳細設定」をクリックしてください。



3. 画面の右上には設定の対象となるペアが表示されていますので確認してください。

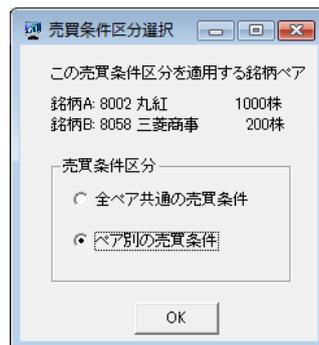
サヤチャートからサヤの傾向を分析して、条件を設定してください。



4. 条件の設定が完了したら「ペア別用として保存」をクリックしてください。
5. 「閉じる」をクリックしてください。
6. 次に、メニューの「売買条件」の「売買条件区分選択」をクリックしてください。



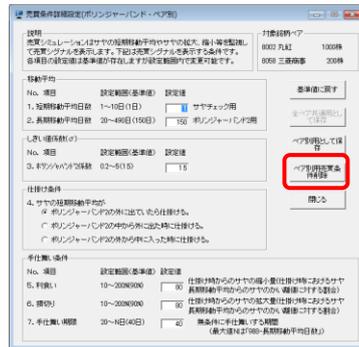
7. 「ペア別の売買条件」を選択して「OK」をクリックしてください。



サヤグラフ上部には、売買条件区分として「ペア別」が表示されます。



※ペア別用売買条件を削除する場合にクリックしてください。



### 3. 注文区分選択

1. メニューから「売買条件」の「注文区分選択」をクリックしてください。



2. 注文区分は「当日大引け」と「翌日寄付き」があります。



「当日大引け」は終値の単価が表示されます。「翌日寄付き」は寄付きの単価が表示されます。取引マークが点いた翌日の寄付きで注文した取引になります。仕掛け情報と手仕舞い情報の「寄付」に、自動的にチェックが入ります。通常は、「当日大引け」を選択します。

3. サヤグラフ上部で確認します。



### ◎チュートリアル

#### 6. 売買条件の設定

<http://youtu.be/Vdau9Jdn6Sc>